



由良町

こんにちは! 議会です

発行/由良町議会 発行責任者/議長 上野 諭  
編集/議会広報編集委員会  
〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1  
TEL.0738(65)1100 FAX.0738(65)0282

2012.8.1  
NO.95



夏本番!

熱中症にご注意を。





# いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを

平成24年  
**6月定例会**  
6月12日～21日開会

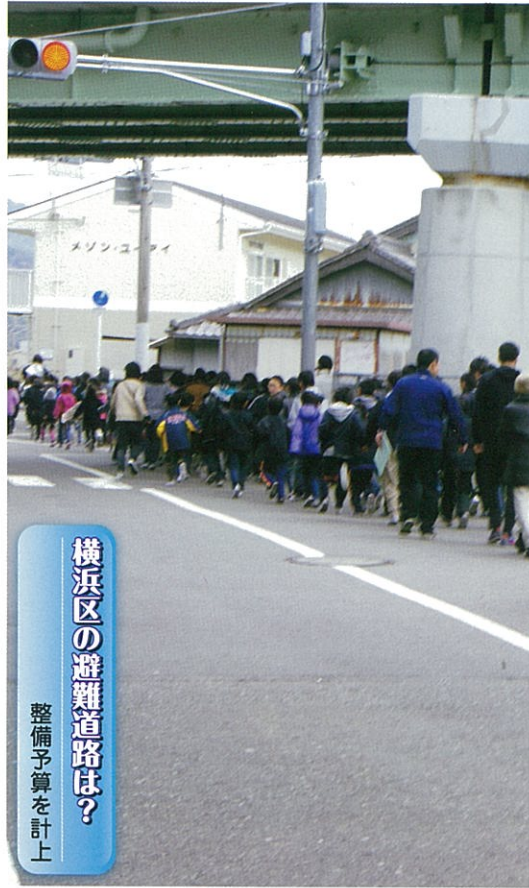
## 平成24年度 一般会計補正予算

### 歳入・歳出それぞれ2億4000万円を増額補正

平成24年6月定例会は、6月12日から21日までの10日間の会期で開催されました。今回の定例会は、畑中町政2期目初めての議会です。24年度当初予算は、骨格予算で構成されていました。町長の所信表明での新規事業が盛り込まれた予算案を5名の議員が一般質問し、質しました。由良町特定環境保全公共下水道条例の一部を改正する条例など条例の一部改正2件、専決処分（報告）9件、議案4件が提案され、慎重に審議の結果すべて可決・承認しました。

### 主な補正予算の概要

町民一人ひとりが「いつまでも住み続けたいと思えるまちづくり」を将来にわたり、持続可能な健全財政の堅持を町政の柱とした項目。  
（◎は新規に取組む施策 ○は継続して取組む施策）



横浜区の避難道路は？  
整備予算を計上

### ①安全で住みやすい町づくり

全体事業費 6867万円

#### 防災対策

- ◎避難道路の整備（網代、神谷、小引、阿戸、大引） 2740万円
- ◎避難道路の整備等に対する自主防災組織への補助 1200万円
- ◎消防車庫の整備（小引、神谷） 1200万円
- ◎小型消防ポンプ購入（畑、江ノ駒、三尾川） 330万円
- ◎防災行政無線音声応答装置の整備 270万円
- ◎LED蓄電池内蔵型避難誘導灯の設置 490万円
- ◎WEBカメラの設置 380万円
- ◎町内の小中学校に防災関連備品の整備（ライフジャケット、緊急連絡メール配信ソフト） 257万円

### 問

避難道路の整備について、人が多く集まる横浜区は、どのような対策、予算措置をされていますか？  
（参考）当然横浜区についても、避難道路の整備予算は計上してあります。

### ②健やかで生きがいをもって暮らせる町づくり

全体事業費 3299万円

#### 子どもの育成支援

- ◎保育所統合に要する経費 3102万円
- ◎障害者緊急時相談支援サービスの実施 132万円
- ◎24時間安心コールセンター負担金 65万円
- ◎医療対策
- ◎糖尿病予防の実施

### 問

統合予定の保育所施設・場所は、どういう形でやるのかを正式に答弁して頂きたい。  
（町長）今ある町有地の中で、津波対策等も含んだ安全な場所を総合的に考えると畑小学校跡地が、一番最適地と考えています。



保育所統合の場所は？  
畑小学校跡地が最適地

### ③人を育み思いやりの心を育てる町づくり

全体事業費 2150万円

#### 体育・スポーツの振興

- ◎農村教養文化体育センターの改修 2150万円

### ④個性と活力に溢れる地域産業づくり

全体事業費 991万円

#### 農業振興

- ◎農業振興のための各種団体への補助 271万円

#### 漁業振興

- ◎大引漁港の整備 200万円

#### 商工業振興

- ◎地域資源を活用した特産品の開発や海産物、農産物等のPRによるブランド化の推進 220万円
- ◎商工業の活性化のための団体への補助 100万円

#### 観光振興

- ◎由良町PRのための着ぐるみ（ゆらの助）作成及び観光業の活性化のための団体への補助 200万円



地域・人・町づくり事業とは  
海・山の幸のブランド化や売り込みを

### 問

新しい地域・人・町づくり事業費220万円について、どういう形で予算措置をされているのか？  
（産業建設課長）由良町の優良天然資源であるアジ、サバ等の海の幸をはじめ、町の主要産物であるワカメ、みかん等の農水産物を生かした料理の研究開発、試作品の料理提供、商品化を進めていきます。ブランド化や売込み、食材提供を行なっていきます。

### ⑤人・もの・情報の行き交う町づくり

全体事業費 5000万円

#### 町道整備

- ◎町道通行者等の円滑かつ安全を確保するための道路整備の実施 5000万円



# 一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は4名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。(文面はすべて質問者本人の原稿によるものです。)

## 畑中町長の再選を受けて、今後の施策は

町民の皆様方の協力を得て活性化に努めたい



藤田 富三 議員

**問** 畑中町長の再選を心からお祝い申し上げます。2期目の町政がスタートされたわけですが、人口の減少が県内ワースト2で5年以内に6000人を割り込むと発表されていますが、この減少を止める施策にどのようなことを考えておられるか？

**答** (町長) 無投票での再選となり、1期目以上に私に課せられた使命と重責をひしひしと感じています。さて、

当町の人口が毎年減少しており、この歯止めとすることが、所信表明でも述べましたように当然5つの政策の中で取り組み、それによって定住化や子どもを育てやすい環境、教育環境の整備、保健、医療、福祉環境の整備・充実に努めてきたところです。住環境の中では下水道の整備に伴う環境の整備、産業の振興である農業、漁業への支援、道路等の基盤整備に伴う利便性の向上等、文化的な生活を営めるような環境整備をした中、由良町で住み続けたいと思えるような町づくりを目指してきたところでございます。日本全体が人口減少社会に突入しており、30、40年後には、1億人を切ると言われております。そういった中で減少を食い止めるのは至難の業かと思いますが、町全体が豊かさを感じられるような町政の運営に努めたいと考えています。豊かさの基準でありますが、私自身も健康で生まれてきたら一生を終えたいと良いと思っています。また、自分たちの町は自分たちの手でと言う意味で、アメリカのケネディ大統領が就任の挨拶の中で、「アメリカ国民が国に何をしてくれるかを問うこと無かれ、国のために自分は何を出来るかを考えて下さい」と言われています。そこで国を町に置き換え、そういう意識を持ち、町民の皆さんの協力を得て由良町の活性化に努めたいと考えています。

## 海拔表示の拡大を

避難場所の表示も検討する



川出 純 議員

**問** 地震・津波対策は率先して逃げる覚悟が必要であると考えますが、高台にも海拔表示を多く作ることを求めます。

**答** (町長) 町民の皆さん方には、現地の高さを頭に入れていただきたい。

また、町外から訪れている方については、地理的知識は少ないと考えております。避難行動をしやすいためにも、今後幹線道路等を主体として考え、避難場所・避難広場の表示も含めて検討してまいります。



## 「畑区風力発電の説明会の詳細は」

**問** 畑区の風力発電説明会の詳細は？ どうなっているのか、低周波や騒音についての話もあったと聞いているが。

**答** (町長) 去る2月25日に事業者が畑区において、由良風力開発との間で締結された協定書に基づきまして、騒音・低周波等について調査結果の報告を行いました。

(参考) 出席者から風の強い日には、音が大きく夜に眠れないと言っている方もおり、測定地点を増やして欲しいという意見もありました。

(他の質問)  
● 福祉としてのゴミ回収のあり方  
● 後見制度の広報活動の強化を

## 風力発電の低周波被害

保健所、保健師に相談して いただきたい。



由良 守生 議員

**問** 6月6日に、地域の人たちの署名を集めて風力発電の運転の停止を求め、日高町と由良町の境に建設計画がある風力発電施設についても中止するように求めた。

被害状況を尋ねるうち、大変な事件になっていると感じた。

アメリカの論文(ニーナ・ピアボント)は子供に対する深刻な影響を報告している。イライラや怒り、という社会的対処技能の喪失と書かれている。最近の被害報告では、風車から3kmから4kmまで影響が及ぶと書かれている。

長年、低周波問題に取り組んでこられた和歌山在住の汐見文隆医師と話した。低周波被害は、医学的には内因性ではなく外因性である。睡眠剤、鎮痛剤、精神安定剤では治療にはならないと話した。汐見医師所有の測定器で低周波を測定したところ、低周波被害を生ずるに十分な数値であると話した。

地域の人々が風力発電により苦しんでいる。風力発電の運転を止めてほしい。

**答** (町長) 由良風力開発株式会社は日本気象協会に依頼して実施した測定結果より低周波による影響を及ぼす関連性は、極めて低いとの報告が出ています。和歌山県においても、測定結果には信頼がおけるものとして取り扱っています。

本町から由良風力株式会社に対して、風車の停止を求めることは現段階では考えていません。

また、風車を止めるという権限も町にはありませんので、ご理解下さい。

低周波で、若干、健康を害したというような健康相談は、今のところ1名です。被害があれば、保健師なりに保健所なり、町の担当のところへ相談していただきたい。

## 定住促進事業の推進を

町有地を民間に賃貸するのは、検討し勉強していく必要がある



山名 実 議員

**問** 由良町の人口は自然減と若い人の流出が目立ってきている。

そこでこの人口減少を抑える手段対策案として住宅問題では若者が住みやすい環境を作ってあげ、若者の定住促進事業の推進を行なっていくことが重要だと考えます。

また働く場所も必要であります。そこで企業誘致と具体的な定住促進について考えをお聞かせ下さい。

**答** (町長) 由良町の人口は毎年自然減少を続けておるのが実情で、30年前に比較して3000人近い減少がございます。

人口減少に歯止めをという形の中で地域の活性化が一番大事な要因になっていくと思います。

企業誘致については今のところ進出はございません。町有地の企業用地も大きなものもないので特段積極的に働きかけというのはいたしておりません。



**問** 町有地の利用方法などアンケートを取ってみるとか、町有地を若者に貸すとか、また業者に貸して賃貸住宅を建ててもらうとか色々な方法があるが、いかがでしょうか？

**答** (町長) 町有地を民間に賃貸をするとかは検討し、勉強していく必要があり、やろうという企業があれば取り組んでいったらいいと思います。

町で住宅を建てるというのは考えにくいので、民間の力を利用するというのはいかがでしょうかと考えられます。

## 白崎海洋公園の部門別管理を

民間の会社で一括管理を検討



玉置 一郎 議員

**問** 3月定例会の一般会計の予算関連質疑にて、公益法人制度改革に伴う白崎海洋公園の指定管理者、財団法人由良町観光公社の運営について、今後の方向性をお聞きしました。

公社理事長を務められている畑中町長は、25年3月末で公社解散後は新たな組織を設置するか、又は民間業者を指定管理者とする2つの可能性を示され、現在、数社のダイビング事業を展開する民間会社から運営の申し入れがあることを明らかにされ、「町としては申し入れを受け、協議を進めている」と答弁され、そして、今年8月9日を目途に議会と協議し結論を出したいと述べられました。

ダイビング部門の収益部門は、その道に長けた専門業者を指定管理者にし、より良い町施設の管理運営を任せたい方が、より発展していくと思っております。

そして公園管理部門については、観光立町としてブランドイメージを確立した白崎を観光の拠点として、由良町全体の観光対応、観光情報発信もする公的な枠組みを議会と協議しながら来年4月、移行するべきだと思っております。答弁を求めます。

**答** (町長) 海洋公園が運営して、現在に至るまでの経営状況は、皆さんもご存じのように厳しいものがあり、年間1250万円の指定管理料を支払った中で運営していますが、毎年数百万円の赤字状況で運営しています。

財団法人という組織の中で経営の体質・利益追求に対する意識などの経営改善を図ってこれなかった事が、職員や理事者においてもあったのではないかと感じています。

議員より、部分別に指定管理または運営という提案がありましたが、町としては今までの海洋公園の管理を財団法人由良町観光公社へ指定管理している形の中で、今後、民間の会社が一括で指定管理に当たってくれたらと検討しています。

議会並びに関係者と相談しながら進めて参りたいと考えています。

(他の質問)  
● 町立3保育所の現状と課題、保育所統合後の子育て支援  
● 高齢者福祉といきいきサロン



# 総務文教常任委員会視察

# 産建厚生常任委員会視察



授業態度はどうですか？



授業中だよ！

## 町内小中学校訪問



できてるかな？



由良中学校にて



MES由良

## 企業訪問

駒井ハルテック



## 町単工事視察



# 全員協議会視察

川辺町周辺土地改良区  
「和佐取水揚水機場」  
取水ポンプ



浄水場



下水処理場

**全員協議会**（6月21日開催）  
白崎海洋公園の指定管理について

全員協議会において、畑中町長から、現在、(財)由良町観光公社に「公園管理」と「収益部門（ダイビングなど）」を指定管理している白崎海洋公園の運営管理について説明を受けました。

来年3月末で公社との指定管理契約が切れる事と、平成20年12月に施行された新公益法人制度に伴い、町長が理事長を務める(財)町観光公社は来年11月末までに新たな組織に移行しなければならぬので、選肢を検討してきました。

①公益財団法人への移行  
②一般財団法人への移行  
③自主解散し、新たな一般財団法人を設立

「民間に広く募集して、新たに指定管理者を選定し、ダイビングを含め観光の更なる振興、施設の活性化を含め民間のノウハウを利用して海洋公園を運営した方が、よりベターとの結論に至った」と説明を受け、新たな指定管理者との契約締結には議会議決が必要ことから、9月中には指定管理者を内定しなければなりません。

来年4月からの運営管理が、スムーズに移行出来るよう議会に理解を求めました。

**編集後記**

畑中町長が2期目の当選をされた新たな気持ちで、今後4年間の由良町の舵取りをする中で、再選後最初の定例会でした。我々議会議員は、議会のチェック機能働いていかなければと改めて考えています。

今年の夏は、昨年の原子力発電所の事故以来、電力対策を求められ、町民の皆様にも節電への協力をしていただいております。

私たちの生活は、電気のおかげで大変便利で快適になりました。重要なことは電気をふくり、使用量を減らすということです。我が町では再生可能エネルギー（風力発電）にも取り組んでいますが、当地域の日照量の多さや潮流による発電、バイオマス発電などを研究して取り組む姿勢が大事です。

今後も自然を大切に、自然と調和しながらの生活を考えて参りましょう(馬)

議会広報編集委員会  
委員長 神田 勉  
副委員長 吉田ひとみ  
委員 山名 守生  
中村 森 実  
馬場 博 文  
玉置 一郎

# つれもていこら!

## 第1回 由良の海・自衛艦一周 シーカヤックマラソン大会

10月6日(土)開催予定

今年初めて、和歌山県由良町海上自衛隊由良基地及び由良湾周辺海域でシーカヤック（カヌー）マラソン大会を開催します。

上級者部門と初級者部門とに分かれて実施されます。上級者部門は18歳以上の健康な男女で、セルフレスキューが出来る人、初級者部門は小学生以上の健康な男女です。

レンタルカヤックも利用できます。(ヘルメット・カヌー用ライフジャケット着用) 初めての方も事前に練習しませんか？

### 美しい由良の海へつれもていこら!!

●詳しい問い合わせは  
由良町役場「産業建設課」  
TEL 65-1203まで。

